赤い羽根共同募金の助成を受けています。

東北・福島+埼玉=福の玉 が生まれ、ゆっくりふくらんでいきますように…

福玉便り

ふくたまだより

4月&5月号

2019年5月1日発行

通巻 第77号

発行:『福玉便り』編集委員会 NPO法人埼玉広域避難者支援センター・(一社)埼玉県労働者福祉協議会
協力:生活協同組合コープみらい埼玉県本部
連絡先:NPO法人埼玉広域避難者支援センター 〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤6-4-21 ときわ会館4F TEL080-4331-0290

上尾シラコバト団地での東日本大震災追悼式

3月11日、上尾シラコバト団地・東日本大震災に咲く会ひまわりの主催で、8度目の東日本大震災追悼式が開催されました。今年はあいにくの雨により集会所での開催となりましたが、約110人の参列者が集まりました。

第一部「黙祷の会」は、災害支援ボランティア宮北会の江藤義章さんによるパンフルート演奏ののち、ひまわりの吉田健一さん(南相馬市)の司会で開会し、4名の式辞がありました。

元富岡町復興支援員の番屋理恵子さんからは、「昨年まで町民の方々を訪問し、『帰りたくても帰れない』『近隣の方とうまくいっているが、心は富岡町民でいたい』といった声を伺いました。我が家は特定復興再生拠点区域に指定され、解体申請のため数年ぶりに一時帰宅しましたが、『早めに解体しないと』と思っていた気持ちが迷いに変わりつつあります。切り倒された柿から芽が出ていて、震災でたくさんの命が奪われたのに、この命も奪うのかと迷いました。大災害を忘れず、広域避難を後世に伝えていくことが大切だと思います」とお話がありました。

元浪江町復興支援員であゆみの会代表の石上清さんからは代読で、「3月11日に幼稚園バスを運転していて子どもたちの犠牲を出さずに済んだこと、家族8人で避難所を転々として避難所ではパンと水だけで生活したこと、越谷市に避難してすぐに孫の入学式でランドセルを揃えられなかったことを、思い出します。今思えば、家族8人が一緒にいられたから、挫けずに済んだのかもしれません。越谷で生活して良かったと、埼玉の皆さんに感謝しています」というメッセージが寄せられました。

川俣町の山木屋太鼓会長の遠藤元気さんからは代読で、「山木屋地区は計画的避難区域に指定され、山木屋太鼓もメンバーが減少しましたが、県内外や海外で演奏のお声がけをいただき活動を継続できています。避難指示は解除され、復興拠点商業施設のオープン、小中学校やスケートリンクの再開など、復興の歩みを進めています。しかし戻っている人口は4割で若い世代が少なく、今度どうするのかと懸命に考えています。これからもふるさとの鼓動を次世代に伝えていきたいです」というメッセージが寄せられました。

武蔵野市キビタキの会会長の小島ヤス子さん(葛尾村)の代弁として同会事務局の山本ひとみさんからは代読で、「住宅支援の打ち切りが続き、子ども被災者支援法に掲げた、自らの意思での居住・避難・帰還の選択が実現できていない現状があります。避難者の生活の困窮に向き合い、暮らしと健康を保証することが政治の役割であり、避難者の住まいと人権を保障するよう政府と福島県に声を届けていきましょう」とメッセージが寄せられました。

そして、14時46分、被災地の方角に向けて黙祷を捧げました。

その後、記念事業「被災地と結ぶ」として、いわき市久之浜町の見渡神社の植樹祭に出席していた埼玉広域避難者支援センターの薄井さんと中継を繋ぎ、宮司さんから、久之浜の住民や水産業の状況についてお話していただきました。

最後に司会の吉田さんから「8年を過ぎて、心を開いた人と閉ざした人の二極化が進んでいます。心を閉ざした人には、皆さんの愛が必要です」、主催者のひまわり会長の橘光顕さん(浪江町)から「毎年開催してきた追悼式ですが、そろそろ必要ないのではないかと今年は開催を悩みました。しかし、避難指示解除から2年になる地域の方々からご挨拶をいただき、いろんな方々のお力で今年も開催できたことに、感謝しかありません」とご挨拶がありました。

第二部「語らいの集い」では、皆さんでお食事と東北のお酒をいただきながら、双葉町出身の箏奏者である大川義秋さんの演奏に耳を傾けました(大川さんについては今月号の「ひろば」をご覧ください)。

震災によって亡くなられた1万5、895人、今も行方不明のままの2、533人、避難生活中に亡くなられた3、701人の方々への哀悼の意を込めつつ、想いを共有する3月11日となりました。

(編集部・原田)

福玉相談センターからのお知らせ

まずは、お気軽にお電話ください
相談員が丁寧にお話をうかがいます

福玉相談センター

相談ダイヤル：**0120-60-7722**

月～金曜日　9時～17時　＊祝祭日はお休みです
＊フリーダイヤルですので通話料の心配がいりません

福玉相談センター交流会

今年度の第１回目の「相談・交流会」は狭山市で開催します。駅前の便利な場所ですので、ぜひご参加ください。お待ちしております。

●日時：6月21日（金）13：00～16：00
●会場：狭山市市民交流センター２階研修室
狭山市入間川１-３-１
狭山市駅西口下車　徒歩１分
＊市民交流センター専用の駐車場はございません。

社会福祉士、看護師、カウンセラー等の資格を持つ相談員が、電話や来所にてご相談やご質問をお受けいたします。

福島のこと、埼玉での生活でお困りのこと、知りたいこと、誰かに聞いてほしいこと、どんなことでも構いません。お話をうかがい、解決に向けてお手伝いいたします。

すぐに解決しないことは、一緒に考えていきましょう。

秘密厳守ですので、どうぞご安心ください。

埼玉労福協からのお知らせ
・2019年のイベント情報

◇7月

①東京サマーランド（日時未定）

②渡辺ブルーベリー園での交流会

＊日　時　2019年7月27日（土）
午前10時30分～午後１時
＊会　場　渡辺ブルーベリー園（埼玉県宮代町）
＊参加費　大人一人500円
（中学生までは無料）
＊備　考　ブルーベリー食べ放題の後、バーベキュー交流会を開催します。

◇8月　**ときがわ町バーベキュー交流会**

＊日　時　2019年８月３日（土）
午前10時30分～午後３時
＊会　場　ときがわ町玉川バーベキュー広場
＊参加費　大人一人1000円
（中学生までは無料）
＊備　考　埼玉県内で働いている家族交流会と一緒に開催します。

◇9月　**福玉交流サロン**（日時未定）
ママランチ会

埼玉県内に避難されているみなさまへ

あつまれ東北人！
第21回 福玉サロン in大宮

●日時:6月18日(水)11:30～(予定)
●場所:東天紅 JACK大宮店
●お問合せ　福島県復興支援員 埼玉事務所
048-814-1111

◇10月　**サイボク家族 BBQ 交流会**

＊日　時　2019年８月３日（土）
午前10時00分～午後１時
＊会　場　日高市サイボクハムレストラン
＊参加費　大人一人500円（中学生までは無料）
＊規　模　150人
＊備　考　都内・近県避難者も参加できます。

◇12月　**福玉交流サロン**（日時未定）
＊テーマ　「福島の郷土料理、家庭料理で交流会」

「まってたよ～」再会交流会

9年目の3・11交流会in騎西

東日本大震災から8年を経て、3月9日、今年も「再会交流会」が加須市騎西の加須ふれあいセンターで開かれました。今年もまた、いわき、東京、つくば、そして埼玉の各地から、バスで、車で、電車で、町民とボランティア仲間130人が再会しました。バスを降りたつ双葉町民を待っていたのは、双葉町民・加須市民からの「まってたよ～」の声とあたたかい拍手でした。

今年はいわきから難波さんたちも参加してくれて、平成国際大学の高野先生と抱き合って再会を喜びあっていました。残念ながら体調を崩して参加できなくなった方たちもいましたが、8年経ったからこその交流会になりました。

手作り料理と渋谷さんの作った柏餅に舌鼓を打ちながら別れの時を迎え、「またね～」「元気でね～」の声に送られて、バスや車で皆さんは各地に帰っていきました。

（加須ふれあいセンター　富沢）

さいがい・つながりカフェ トークイベント

「あれから8年 町はいま」開催報告

3月30日（土）埼玉県男女共同参画推進センター

楢葉町の早川さん（右）と猪狩さん（左）

私たちは2012年より毎年3月には避難されている方々の声を聞く場を設けてきました。8年経った現在、原発事故に関して新聞等での報道が少なくなり、まだまだ避難生活が続いていることへの意識や避難指示が出た町のその後への関心が薄くなってきたように思われてなりません。そこで、今回はつながりカフェの中から猪狩京子さん（楢葉町からさいたま市に避難）と渡部まゆみさん（大熊町から春日部市へ避難）に加えて、楢葉町婦人会会長の早川シンさん（楢葉町からいわき市に避難）と大熊町農業委員会会長の根本友子さん（大熊町からいわき市に避難）にも埼玉へお越しいただき、避難生活や楢葉町・大熊町の今の様子、これからの町との関わり等を語ってもらいました。

楢葉町の避難指示解除後、早川さんは休会していた婦人会を復活させ、帰ってきた住民の心を少しでも明るくしたいと花壇づくりや町おこしに取り組みました。猪狩さんは埼玉と自宅とを行き来しながら婦人会にも参加しています。病院などの整備の遅れ等から「暮らしの面もそうだが、心の復興はまだまだ」と指摘しました。根本さんも農地保全や心の癒しとしてひまわりプロジェクトを大川原地区で進めてきました。大熊町のお2人の自宅は中間貯蔵施設内にあり、解体せざるを得ませんでした。「土地の一部の地上権は残した。その土地が自分の支えになっている」（根本さん）、「体の半分は以前の大熊町民。忘れられない。これからも町に通う」（渡部さん）というお2人の言葉から、私たちは生まれ育った土地のかけがえのなさを深く重く受け止めました。その後、中間貯蔵施設の最終処分や「復興五輪」について、会場の参加者も一緒に国に対する要望や意見などを出し合いました。

大熊町の根本さん（右）と渡部さん（左）

様変わりしつつある町の現在に複雑な思いを抱きつつも、今は人と人をつなぎながら、自分のできることを精一杯やっていくという4人の姿勢に力をもらった1日となりました。あるアンケートに「ずっとずっと続くんだなと思った。8回だけではなく、9回、10回と話を聞かせてください」という文がありました。あの日から同じ地続きの日々を生きている私たちが思いを重ね合わせられる時間・場を作っていきたいと思います。

（さいがい・つながりカフェ実行委員会　薄井）

大川義秋さん（双葉町から埼玉県に避難）

上尾シラコバト団地追悼式にて箏の演奏を披露してくださった大川義秋さんに、追悼式後、マネージャーのお母様と一緒にお話を聞かせていただきました。ご紹介させていただきます。

3月11日はちょうど双葉中学校の卒業式で、4月からはいわき総合高校に進学する予定でした。中学校が吹奏楽部で、総合高校が強かったので吹奏楽をやりたいと思っていたんです。

式が終わって家でゆっくりしようとしたときに、大きな地震が来ました。その時はまさか関東に避難するとは思っていなかったので、落ちた食器などを片付けてましたね。夕方に中学校に避難するよう指示があったので家族で行ったんですけど、校舎はいっぱいだったので、駐車場で車の中で寝ました。

次の日の朝に、東電の作業員の方が来て、20キロに逃げなさいと言われました。家族で少しでも安全なところに避難しようと思って、まずは郡山の親戚のところ、そのあと埼玉に行きました。

両親が「子どもたちの学業優先で」と言ってくれて、自分の高校をどうしようとなったときに、避難先の近くに県立高校があって、「あの高校は良いんじゃない？」という話になったんです。4月2日に面接して、4日が入学式でした。制服も教科書も間に合わないと言われていたんですけど、校長先生が至急用意してくれて、みんなと一緒に通うことができました。

入学して自己紹介タイムがあって、その日は誰よりも早く教室に行きました。担任の先生が声をかけてくださって、「福島から来たって言う？」って聞いてくれて。いじめられるんじゃないかとか不安はあったんですけど、その時に言うと決断して。言ったお陰で、周りの子が「手伝えることない？」とか聞いてくれたのは大きかったですね。

部活は誰もいない部が良いなと思って、邦楽部を見つけたんです。同級生で一緒に入った子がいて、その子が入らなかったら廃部だったんですけど。その子と切磋琢磨しながら、お箏をはじめました。

部活でボランティアに行ったとき、震災の話をしたりして、最初は自分の口から出すのがつらかったんですけど。共感してくれるだけでなくて、話すことによって「救われた、元気もらえた」と言ってもらえるようになって、「これは自分から発信していかなくてはいけないんだな」って思うようになりました。

2年生の時に力試しと思って、岐阜県のMBK音楽コンテストにソロで出場したときに、入賞することができました。嬉しかった反面、「なんで1位になれなかったんだろう」と燃えてきて。高校3年生のときは、埼玉県の高校邦楽祭で1位になりたいと思って全力で練習して、結果は銀賞だったんですけど、そこでも悔しさがありました。

高校を卒業するときに、音楽系の大学に行こうか迷ったんですけど、小さいころから絵を習ったり工作の教室に通ったり、表現するのも好きだったので、都内の大学の工学部デザイン学科に入学しました。それまで演奏って音で届けるだけだと思っていたのが、デザインを大学で学んで、デザインで感情を届けたり人と人を繋げたりできるんじゃないかと、衣装とかも自分で作るようになりました。

大学2年生の時に、横浜国際音楽コンクール・アマチュア部門の学生の部で優勝することができました。もっとお箏の大会で1位になりたいと思って、大学3年生のときに、くまもと邦楽コンクールに出て、箏曲の部では1位だったんですけど、全体では2位ですごい悔しくて、「来年は1位取ります」ってスピーチして（笑）、次の年に臨みました。その時に、自分の衣装で出演したら、皆さんが着物で出場されているのでざわめきがあって（笑）、見てろと思って全力を出して、優勝することができました。その優勝を経て、東京都のイベントなどに呼んでいただけるようになりました。一人の活動以外にも、「桜ren」という和楽器10人グループでavexからデビューさせていただいて、音楽のパフォーマンスを見せるということを学んで、自分の活動にも活かしてます。また、大学2年の時から津軽三味線も習っていて、北村流名取「北村貴秋」としても活動しています。

大学を卒業してからプロの箏奏者となって、一年になります。和楽器の古典的な文化

損害賠償手続き継続中に代表請求者が亡くなられたときの手続きについて

東京電力に賠償請求する際には「代表請求者」を登録することを求められます。たとえば、家族４人で避難を余儀なくされた場合には、精神的損害に関しての賠償請求権はご家族全員がそれぞれ有することになるのですが、東京電力としては、ご家族の４人ばらばらに支払うのではなく、家族を代表して賠償金を受け取る方を「代表請求者」として定めるように求めています。これにより、賠償金は、その代表請求者名義の銀行口座に振り込まれることになります。

一般的に、代表請求者は世帯主がなる場合が多いようですが、この代表請求者である方が、損害賠償手続きが完了していない途中でお亡くなりになられた場合、その方名義の銀行口座が凍結されてしまい、以後の手続きが途中で止まってしまっている、という相談事例が増えてきています。

以後の手続きとしては、ご家族の中から新たに代表請求者を決めて、その方名義の銀行口座に続きの賠償金が振り込まれるようにする必要があります。実はこの手続きが煩雑で、いわゆる一般の相続手続きと同様の手続きが必要となってしまいます。

この手続きには以下のものが必要となっています。

- 亡くなられた方の相続人を特定するための戸籍（通常、亡くなられた方の出生から死亡までの戸籍となります。）
- 相続人全員の戸籍
- 相続人全員の印鑑証明書
- 東京電力が用意した、「新たな代表請求者が亡くなられた方の請求権を全て引き継ぐことに異論がないことの証明書」（委任書という題名の書面です）に相続人全員が署名・押印（実印）する

以上の書面を揃えて東京電力に送り、確認が行われたのちにようやく代表請求者が切り替わることになります。

これらの手続きがご自身では不安である場合、ご遠慮なくご連絡ください。

司法書士メンバーが中心となってご相談に対応させていただき、状況に応じて、弁護士、行政書士、税理士など、適切な専門家におつなぎさせていただきます。

ぜひ、早めにご相談ください。

震災支援ネットワーク埼玉　事務局　担当：愛甲

電話：090-8879-0213（相談対応で移動中は留守電になります。メッセージを残していただければ折り返しご連絡させていただきます。）

を通して、感謝とか、自分の辛かった思いだったり、乗り越えるというメッセージを込めて、活動してます。今後は、例えばアロマと箏と和紙でコラボをしてみたり、お箏の新しい可能性を伝えながら、人に癒しとか安らぎを与えたいと思っています。

先日、福島で演奏してきました。復興っていう言葉って、建物だったり土地の復興だったりがありますけど、やっぱりまだ心の復興が進んでいない方がたくさんいて、悩んでいる方、落ち込んでいる方もたくさんいると思うので。そういう方の支援になるように、福島でも活動したいですし、被災地だけでなく全国で、音楽で心を救う活動をしたいと思っています。

中学校の吹奏楽部の先輩がすごく面倒見の良い方で、優しく教えてくれて、僕もそういう先輩になりたいと思っていたんですけど、その先輩が津波で亡くなりました。亡くなったことを僕は４月中旬頃に知ったんです。音楽をやりたくなくなってしまった時期もあって、先輩のことを思い出すだけで泣いてしまったりしたんですけど。先輩のように、「音楽って楽しい」ということを伝えなくてはいけないなという気持ちがある時うまれて、先輩に教えてもらった楽しませる音楽を思い出しながら、活動しています。

◆大川義秋さんホームページ
https://www.kotomen.com/

（聞き手・編集部・原田）

住宅支援の現状と、各自治体が実施する生活支援について

『福祉便り』編集部では２０１９年１～２月に埼玉県内63市町村を対象とした７回目のアンケート調査を実施し、全自治体からご回答をいただいて、避難者数の結果を76号（３・４月号）に掲載いたしました。前号ではご紹介できませんでしたが、今回も住居形態ごとの避難者数や、各自治体が実施する避難者向けの生活支援についても調査しましたので、その結果をお伝えいたします。

（編集部・原田）

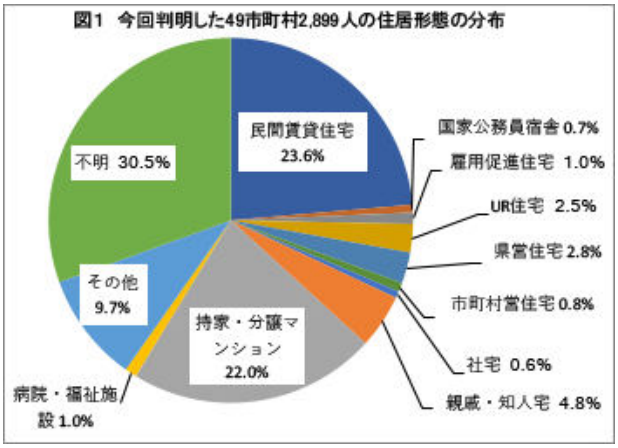
■埼玉県の応急仮設住宅のいま

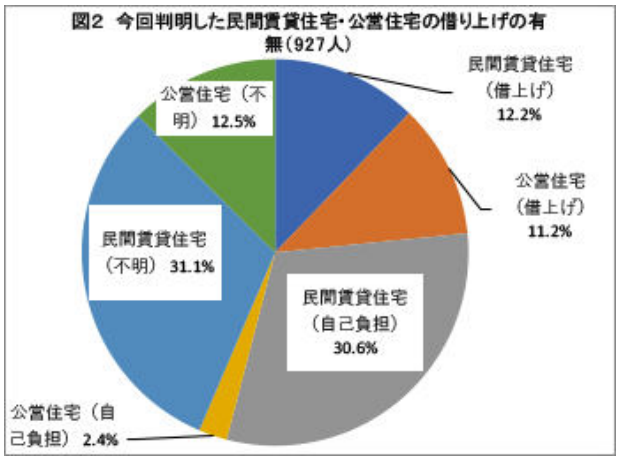
住居形態ごとの避難者数について、現在避難者を受け入れている57市町村のうち、42市町村（２、７４６人相当）から回答があり、図１のような結果となりました。

ここからは、避難した方々が、民間賃貸住宅や各種の公営住宅、親戚・知人宅、持家など、今なお様々な場所で生活されていることが分かります。回答率の変化があり厳密な比較はできませんが、昨年の同様の調査から民間賃貸住宅が８パーセントほど減少、不明が10パーセントほど増加しており、借上げ住宅の提供終了などに伴って受入自治体での居住先の把握が難しくなっていることが推測できます。

また、民間賃貸住宅と各種公営住宅について、借上げ住宅と家賃自己負担の比率を示したものが、図２です。こちらも昨年と比べると、民間賃貸住宅の不明分が大幅に増加しています。今も借上げ住宅の制度で生活する方々は、最も少なく見積もって、民間賃貸住宅・各種公営住宅の四分の一ほどになります。

埼玉県庁では２０１７年度から、借り上げ住宅を退去した避難者の受け皿として、県営住宅の優先入居の制度を開始しました。避難指示の解除とともに借り上げ住宅の提供終了も進んでおり、その受け皿が引き続き求められています。





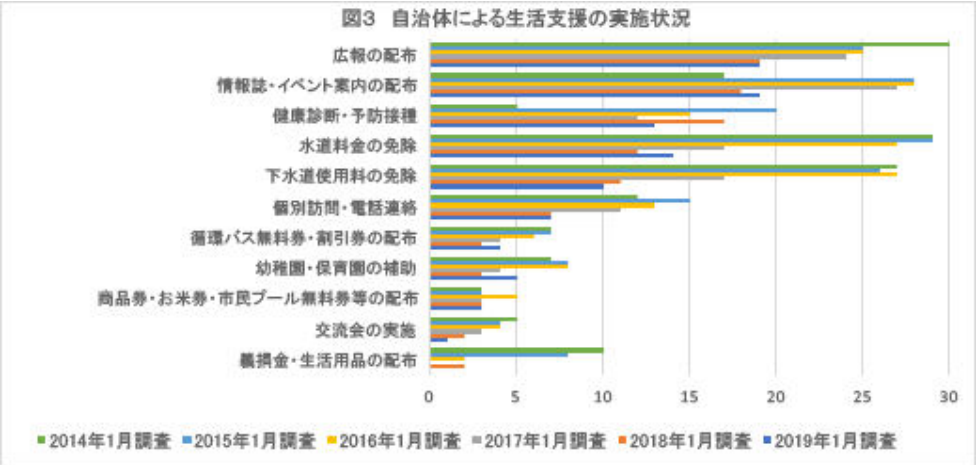
■各自治体が実施する生活支援について

埼玉県内ではこれまで、複数の自治体によって様々な避難者向け生活支援が実施されてきました。図から分かるように、２０１５年頃を境に特別な支援は徐々に終了し、「住民」と同じサービスへと移行してきたこと分かります。その中で、上下水道料金の減免や個別訪問などの支援を継続している自治体も複数あります。

また、今回の調査でも自由記述にて、自治体職員の方々から、避難者の状態や居住実態の把握について幾つか問題提起もいただきました。

・「避難者の現況・要望の詳細把握が難しく、また避難者支援を新たに実施したくても財政負担を伴う支援については財政的に困難な状況である。」

・「総務省管轄の『全国避難者情報システム』の再整備をお願いします。現状、登録されている方に、転出等の住民移動が発生したが、本人世帯から変更届が出され



福島県の埼玉駐在さん、

この4月、仲野能磨さんに代わり、菅野耕也さんが新しく赴任されました。これからどうぞよろしくお願いいたします。

福島県避難者支援課埼玉県駐在

菅野耕也さん

福島市で生まれ、大学まで福島市で過ごしました。3月11日は大学1年の終わりで、ちょうど自動車学校から自転車で自宅に帰っている時に地震が起こりました。マナーモードにしていた緊急地震警報が鳴りだし、揺れがすごくて慌てて自転車を降りました。家がくずれるのを見て、隣に立っていた八百屋さんと「やばいですね」と話したことを覚えています。揺れが収まったら自転車に乗り、余震の時は降りて押しながら帰宅しました。家の中は物が散らばっていましたが、大きな被害はなくてすみました。大学はしばらく休校となり、GW明けから再開しました。生活に大きな変化はなかったですが、ずっとマスクをしていましたし、市内に避難してきた方々がいることも聞きました。

県の職員を仕事に選んだのは、小学生に土曜日ハンドボールの指導をしていたのですが、ちょうど福島県で肥満児が増えていることが問題になって健康の面で何か自分もできないかなと思ったことと、福島県でインターハイが開催されることを知り、その業務に携わり全国の方々に復興を伝えていきたいと思ったからですね。

ハンドボールとは中学校の時に出会い、高校、大学と続け、今も社会人クラブに所属しているので週1～2回福島市内で練習しています。各大会に出場しています。ハンドボールはスピーディで、結構激しくぶつかり合うので見ている人も楽しめる競技だと思います。自分のポジションはサイドです。走るのは長距離が得意で、体力はある方だと思います。マラソンも趣味です。体を動かすことが好きなので、休日も外出して、ハンドボールの練習のほか、ランニングしたりしています。

最初の勤務は、いわき管轄の県税部で5年間勤めました。3年間は会社に税金を課税する担当、あとの2年は個人や会社から徴収する業務を担当しました。経済学部でしたので税の計算などは得意ですが、税金の徴収などに携わっていると怒られたり、怒鳴られたりするのは日常茶飯事で、電話で話を聞き続けることも大事な仕事でした。2年前に復興局との兼務になり、いわき市内の仮設終了に伴う意向調査の業務で戸別訪問をし、避難されている方々のお話を聞く機会を持ちました。

これからは埼玉県の駐在として、ご自宅を訪問したり交流会等の機会に多くの方々とお目にかかれることを楽しみにしています。自分はちょっと人見知りのところがあるのですが、以前の業務で鍛えられて話を聞く力もついてきました。避難生活において不安なことやお悩みがありましたらどんなことでも結構です、お気軽にお声掛けください。

＊好きな食べ物：好き嫌いはありません。お酒は飲みます。

＊埼玉県について：今までは「東京へ行く途中にある県」としか思っておらず、この4月に初めて足を踏み入れました。まだ数日しかたっていないのでよくわかりませんが、印象としては、いい意味で都会過ぎないというか。せっかく駐在となったので、埼玉県の有名なところに行ってみたいです。ムーミンバレーパークがオープンしたと聞きました。あとは山に登ったり、走ったりしたいですね。

（聞き手 編集部・薄井）

ない場合、永続的に間違った情報が掲載されたままになっている。なお、本人に打診しても、生活に支障が無いせいもあって、『修正しといてください』等の対応をされてしまう。今後、本人からの口頭確認などで変更確認が取れた場合は、届出がなくても修正・削除ができる対応を可能としてほしい。また、東日本大震災以外の災害による避難の受け入れも行っており、整理を含め記載方法等を検討していただきたい。」

・「県外支援の在り方として避難元の自治体と県外支援団体との連携をより良くしていくことが望ましい。」

「避難者」という定義がますます曖昧になる中で、官民協働でどのような長期的支援を行っていけるのか。埼玉広域避難者支援センターでは、今後さらに自治体の担当者の方々と連携・情報交換、提言をおこなっていきたいと考えています。

32 玉兎の会
5/18(土)、6/1(土)
10:30～12:00 With Youさいたま
☎090-6128-1948(小林さん)

33 つながり
奇数月第一土曜日(1月はお休み)
毛呂山中央公民館
毛呂山町☎ 090-9032-8116 河井さん

6月

1日（土）8 32
2日（日）
3日（月）
4日（火）14
5日（水）
6日（木）
7日（金）
8日（土）
9日（日）16
10日(月)
11日(火)
12日(水)
13日(木) 19
14日(金)
15日(土)
16日(日) 5 15 27
17日(月)
18日(火) 3 1
19日(水)
20日(木) 1
21日(金)
22日(土) 16
23日(日) 25
24日(月)
25日(火) 3
26日(水)
27日(木) 19
28日(金)
29日(土)
30日(日)

こちらのサイトにも情報があります。
http://431279.com/
(SSN震災支援ネットワーク埼玉)

17 つながりの会
東北復興支援販売
草加市物産・観光情報センター
☎048-932-6770(草加市社協地域福祉担当)

18 ひまわりの会
☎ 080-5431-0123(島田さん・留守電)

19 さいがい・つながりカフェ
月2回木曜日11:00～15:00
5/10(木)、5/24(木)、6/14(木)、6/28(木)
11:00 ～ 15:00
With Youさいたま4F和室
(埼玉県男女共同参画センター・新都心駅7分)
04さいがい・つながりカフェ☎048-601-3111、tu-nagari.saitama@gmail.com

24 新座さいがいつながりカフェ
新座市☎ 090-2402-9155(谷森さん)

25 青空あおぞら
5/26(日)、6/23(日)
13:30～16:00新所沢公民館(お子様OK！法律の専門家参加予定)
所沢市 ☎090-8879-0213(SSN・愛甲)

27 おあがんなんしょ
5/19(日)　潮干狩り 千葉海岸
6/16(日)　定例サロン
フクトピア
☎ 090-5345-8408(松舘さん)

28 ここカフェ@川越
☎070-5080-4494(鈴木さん)

29 鳩のつどい
月2回 10:00 ～12:00
ＪＡＸＡ鳩山宿舎108号室
☎ 049-296-1241(鳩山町健康福祉課)

1 第21回福玉サロンin大宮
6/18（火）11：30～（予定）
東天紅 大宮 ※詳細調整中

2 福島原発事故責任追及訴訟　第２６回期日
訴訟後の報告集会では、当日の法廷でのやりとりを分かりやすくご説明します。ぜひ一度傍聴にお越しください。※普段より開廷時間が早まりますのでご注意ください。
7/17（水）10:30開廷、さいたま地裁１０１号法廷　裁判終了次第集会、調整中 http://fukusaishien.com/
048-960-0591（みさと法律事務所）

4 加須ふれあいセンター
ふれあい食堂
月～金の毎日(11時～13時は日替わり定食500円、13時から無料カフェ)
加須ふれあいセンター
加須市正能11-5 ☎090-1650-2874(富沢さん)

5 すくすくのあそび広場
すくすくのあそびひろば(要事前予約)
6/16(日)10:30～14:30　不動岡公民館　小中高生勉強会(１対１で学習支援)
毎週木曜(5/2はお休み)　17:00～19:00　市民プラザかぞ５Fと４F　090-2411-8598(戸恒さん)
すくすく広場講演会　講師　愛沢隆一さん　～受け止めて　小さなさけび　受け止めて～児童虐待対策と児童相談所および地域の役割
5/26(日)14:00～16:00
不動岡公民館(無料)
090-2411-8598(戸恒さん)

8 東日本大震災に咲く会ひまわり
5/11(土)、6/1(土)　定例会合
10:00～12:00
シラコバト団地第一集会室
上尾市☎ 048-607-6723(団地自治会事務所)、☎ 080-3091-6215(橘さん)

10 くまがや結の会 熊谷市
5/25(土)定例会＆バンド演奏会　11:00～道の駅おおた
090-7661-9236(林崎さん)

11 羽生つながりカフェ
☎ 080-5532-7380(薄井さん)

12 お茶っこふるさと会
久喜市☎ 090-6855-7140(木幡さん)

14 春日部つながりカフェ
5/8(水)、6/4(火)　13:30～16:00 コーププラザ春日部(法律家参加予定)
☎090-8879-0213(SSN・愛甲)

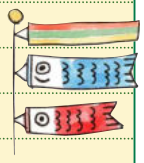
15 ひだまり広場
5/17(日)12:00～16:30
6/16(日)未定 ほっと越谷
参加費無料
☎090-8613-1284(佐藤さん)

16 あゆみの会
5/26(日)バーベキュー大会
10:00～ 越谷花田四丁目自治会公園
6/9(日)じゃがいも収穫&BBQ
10:00～　あゆみの会畑
6/22(土)ブルーベリー狩り
10:00～ 宮代町渡辺ブルーベリー園
越谷市☎ 090-9425-2001(石上さん)

3 ふくしま暮らし安心プロジェクト～生活相談会＆パソコン講座
6/25（火）10:00～12:00
ときわ会館5階小ホール
0480-31-0055（すぎとSOHOクラブ）

5月

1日（水）
2日（木）
3日（金）
4日（土）
5日（日）
6日（月）
7日（火）
8日（水）14
9日（木）19
10日(金)
11日(土) 8
12日(日)
13日(月)
14日(火)
15日(水)
16日(木) 1
17日(金) 15
18日(土) 32
19日(日) 27
20日(月)
21日(火) 3
22日(水)
23日(木) 19
24日(金)
25日(土) 10
26日(日) 5 25 16
27日(月)
28日(火)
29日(水)
30日(木)
31日(金)



1 双葉町民によるボランティアカフェ
5/16(木)、6/20(木)10:00～15:00
備考：法律・心の相談可能
いきいきサポートセンター
☎090-8879-0213(SSN・愛甲)

3 双葉町老人クラブ女性会&さいがい・つながりカフェ
5/21(火)、6/18(火)0:00～12:00いきいきサポートセンター
☎080-5532-7380(薄井さん))

『福玉便り』編集委員会
連絡先：NPO法人埼玉広域避難者支援センター
電話080-4331-0290　メール：fukutama@431279.com
こんな情報を掲載してほしい、この記事はよかった、など感想や質問をおよせください。

福玉便りのお届け作業を一緒にやってくださる方、大募集!
6月27日(木)13:30-16:00ごろ
場所：ときわ会館1F 福島県県外避難者相談センター 奥
印刷などの都合で日程が変更になるときがあります。できれば、ご一報・ご確認いただければ幸いです。080-4331-0290まで

福玉便りの全バックナンバーのデータ、最新情報はNPO法人埼玉広域避難者支援センターのホームページにあります。→ http://fukutama.org/